

市立小・中学生の健全な成長、発達のための教育活動を求めることについての陳情  
【陳情項目】

1 身体的、精神的及び発達上の問題で、マスクを着用できない児童・生徒がいること、また常時マスクを着用することに対し、不安や不快、不調を感じ、学校生活に支障を来している児童・生徒がいることを児童・生徒、教員に対して周知し、上記のような理由でマスクを着用していない児童・生徒及びその保護者の意思を尊重し、差別や圧力、いじめが生じることのないよう指導してください。また、これを保護者にも通知するため、教育委員会から通達を出すよう指導して下さい。

2 「藤沢市立学校新型コロナウイルス感染対策について」の(4)学校給食及び昼食の【ウ喫食時②児童・生徒が対面して喫食する形態を避け黙食する】を文部科学省の衛生管理マニュアルに準じて「大声での会話は控える」へ見直すことを検討して下さい。

3 登下校時や体育の授業などの運動時のマスク着用の危険性を児童・生徒及び保護者に継続的に周知し、積極的に外すよう指導して下さい。また「藤沢市立学校新型コロナウイルス感染症対策について」の8ページ目の学校におけるマスクの取り扱いについての【十分な身体的距離が確保できる場合はマスク着用は必ずしも必要としない】【イ気温、湿度や暑さ指数 WBGT が高い日には、十分な身体的距離が確保できない場合でも、熱中症などの健康被害が発生する恐れがあるため、マスクを外すこと】とあるが、児童・生徒や保護者に十分周知し、積極的に外すよう指導して下さい。

【陳情理由】

いわゆるコロナ禍と言われる状態になってから2年余りが経過し、その間、市民は行動の自粛など様々な制限を受けたことで日常生活や経済活動において大きな影響を受けてきました。とりわけ市立小・中学校に通う児童・生徒においては学校生活や教育活動の中でとられてきた感染拡大防止対策が、一方では健康や発育、発達に悪影響を与えているとも言われています。厚生労働省が発表しているデータでは、未成年者は新型コロナウイルス感染症によって重症化や死亡のリスクは極めて低いと言われ、感染拡大防止対策の内容について疑問の声が上がっています。未知の病であった新型コロナウイルス感染症について多くのことが分かってきた今、感染症予防に偏らず、児童・生徒の健全な成長、発達及び学習環境の確保とのバランスを図ることが必要と考えます。

藤沢市教育委員会においては、児童・生徒やその保護者の中には多様な意見があることを認め、それらを尊重してください。以上の理由により、次の事項について陳情いたします。

2022年 5月31日

住所 藤沢市片瀬4-9-43

氏名 馬場厚子  
他953人



藤沢市議会議長  
佐賀 和樹様

陳情 4 第 7 号

